



58 名が卒業 未来に幸あれ

第 79 回卒業式



【感謝】【絆】【未来】

3 月 1 1 日に第 7 9 回卒業式を行い、5 8 名が卒業しました。後期入試終了後からスイッチを切り替えて、「花翔」をテーマに気持ちを高めて迎えた卒業式。緊張の中にも、堂々とした姿で臨んでくれました。1. 2 年生からは温かい感謝と応援のメッセージが送られ、その言葉や姿勢を感じ取った 3 年生は、次年度を担う後輩たちに頼もしさを感じたことと思います。3 年生の「別れの言葉」の中には、3 年間の印象的な場面が織り込まれ、その一つ一つを思い出しながら、あふれる涙と共に最後のメッセージとして伝えてくれました。最後に歌った合唱曲は『群青』。『群青』は東日本大震災をきっかけに生まれた曲。今年の卒業式は 3 月 1 1 日。3 年生は卒業と『群青』を重ねていたことと思います。『群青』の歌詞には「当たり前が、幸せだと知った」と綴られています。そして、「また会おう、群青の町で」と締めくくっています。「みんなと共に生活できることは本当に幸せなこと」、「また会えることは、互いに生きているからこそのこと」。『群青』はそう伝えているのだと思います。ステージで実感した想いを胸に、4 月からの道を進んでほしいと願います。



3 年生がたくましく成長したことはもちろん、1. 2 年生もそれは同様で、その成長ぶりに驚くと同時に大きな喜びを感じています。4 月からはそれぞれに進級し、立場も大きく変わります。1 年後、2 年後に描く目標に向けて努力を続け、目標とされる先輩になってほしいと思います。



修了式を迎えて

令和 7 年度が修了となります。昨年の今頃も同様なことを記しましたが、市川中では、生徒・教職員共に「毎日を幸せと思える」学校であるように取り組んできました。「幸せ」の捉え方はそれぞれかも知れませんが、学校が楽しいと思える場所であること、来たいと思える場所であることが大切だと思います。その原動力が、楽しい授業や学びであり、豊かな人間関係であれば最高です。ですが、学ぶことの楽しさを感じるには、継続して学んだり、基礎的・基本的な内容を身に付けたりしていくことが必要ですし、豊かな人間関係をつくったり、時に折り合いを付けたりすることも必要でしょう。どちらもすぐに身につくものではありませんし、継続した努力が必要です。年度末・年度はじめはリセットしたり切り替えたりする好時期です。短いですが、新たなスタートを切るよい準備の時間を過ごしてほしいです。保護者の皆様におかれましては、1 年間、本校の教育活動へのご理解と、たくさんのお力添えをいただき、心から感謝いたします。本当にありがとうございました。来年度も、どうぞよろしく願いいたします。



表面で「年度末・年度はじめはリセット・切り替えのチャンス」と書きました。生徒にも自分を見直したり、バージョンアップしたりする機会にしてもらいたと思います。自主的な学習の習慣化に向け、「ノートの取り方」について自分なりに思うことを記しました。今後の参考になればと。

●このスペースも復習に使う。

復習はその日のうちにできるのがいちばん

マグマ

地下深く、高温とけている岩石

溶岩

マグマが地表に流れ出て、固まったもの

火山ガスの主成分は水蒸気らしい

火山の形は

マグマのねはりけの弱い、強いのがいによって変わる。

分からないこと、もっと知りたいことはメモしておき、先生に質問しよう。

火山ガスの他の成分は何だろう？

復習の積み重ねで知識を確かめるものに。

ノートを授業の記録として、その後にも使えるように
・復習に使えるように、要点が分かるように

(理科を例に) ● 私なら以下の様にノートを扱う

日付を忘れない 3/24 2校時
目標 火山とその形について理解する

火山とその形




(1) マグマ: 地下深くにある、高温でどろどろにとけた状態の岩石

(2) 溶岩: マグマが地表に流れ出したもの。また、それが冷えて固まったもの。

(3) 火山の形: 火山の形や噴火のまじりのちがいは、マグマのねはりけが関係している。

(4) 火山噴出物: 火山からふき出されたもの。火山ガス、火山灰、火山礫、火山弾、軽石、溶岩など

・主は水蒸気

	傾斜がゆるやかな形	円錐形	盛り上げがた形 ドーム状
火山の形	 マウントロブ火山など	 桜島など	 雲仙普賢岳など
マグマのねはりけ	弱い(小さい) ←		→ 強い(大きい)
噴火のまじり	おとなやか マグマが流し出る ←		→ 激しい 爆発的
火山をつくる岩石の色	黒っぽい (有色鉱物が多い) ←		→ 白っぽい (無色鉱物が多い)

- ノートのまじりの足跡
- 先生の言葉で黒板に書か
- ・正しいに書く
- ・間違いは必要に訂正して
- ・マーカーや色ペンはメモしよう。
- ・分かりやすく適度に使う。

●このスペースはテスト前の見直しに活用

- ・理解していることをまとめ直してもよいし、不安なところを書き出したり、やり直してもよいですね

※ 学びの工夫は人それぞれ。まねたり工夫したりして、自分のスタイルを持とう!